

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道4号 <small>かながせ</small> 金ヶ瀬拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県刈田郡蔵王町宮 <small>かつた ざおうまちみや</small> 至：宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬 <small>しばた おおがわらまちかながせ</small>	延長	3.7 km		
事業概要					
一般国道4号は、東京都中央区から青森市までの福島市、仙台市、盛岡市等の東北地方の主要都市を結ぶ、延長約874kmの主要幹線道路である。 金ヶ瀬拡幅は、刈田郡蔵王町宮から柴田郡大河原町金ヶ瀬に至る延長3.7kmの4車線拡幅事業である。					
H16年度事業化		H6年度都市計画決定 (H一年度変更)		H17年度用地着手	
				H21年度工事着手	
全体事業費	84億円	事業進捗率	52%	供用済延長	2.1 km
計画交通量	25,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.7				
感度分析の結果					
【事業全体】 交通量：B/C=1.4~2.0(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.6~1.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.9(事業期間±3年)					
【残事業】 B/C=2.9~3.6(交通量 ±10%) B/C=3.0~3.6(事業費 ±10%) B/C=3.1~3.4(事業期間±1年)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の渋滞損失時間：45.9万人・時間/年、並行区間等の渋滞損失削減率：約9割削減 ・現道の白石ICから金ヶ瀬交差点（東北道通行止め時・下り方向）における時旅行速度が10km/h未満等である区間の旅行速度の改善が期待される ・新幹線駅（白石蔵王駅）への大河原町からのアクセス性向上が見込まれる					
②国土・地域ネットワークの構築 ・大河原町から日常活動圏中心都市（白石市）へのアクセス向上（現況25分）が見込まれる					
③安全で安心できるくらしの確保 ・白石市からみやぎ県南中核病院へのアクセス向上（現況28分）が見込まれる					
関係する地方公共団体等の意見					
○宮城県知事の意見 ・「対応方針（原案）」案のとおり継続で異議ありません。 ・なお、対象事業は、本県の東日本大震災からの復旧・復興を果たす上で非常に重要な路線でありますことから、コスト縮減にも十分配慮しながら、本県の重点施策である「防災道路ネットワークの構築」に向け、早期完成を図っていただきますよう、よろしくお願いいたします。					
○以下の団体等から、金ヶ瀬拡幅の整備促進について要望あり ・蔵王町（蔵王町長）、大河原町（大河原町長）、村田町（村田町長）					
事業評価監視委員会の意見 ・対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率52%（うち用地進捗率84%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。					
施設の構造や工法の変更等 ・再生資材（再生砕石、再生アスファルト合材等）の活用、及び歩車道境界ブロックに経済的な長尺製					

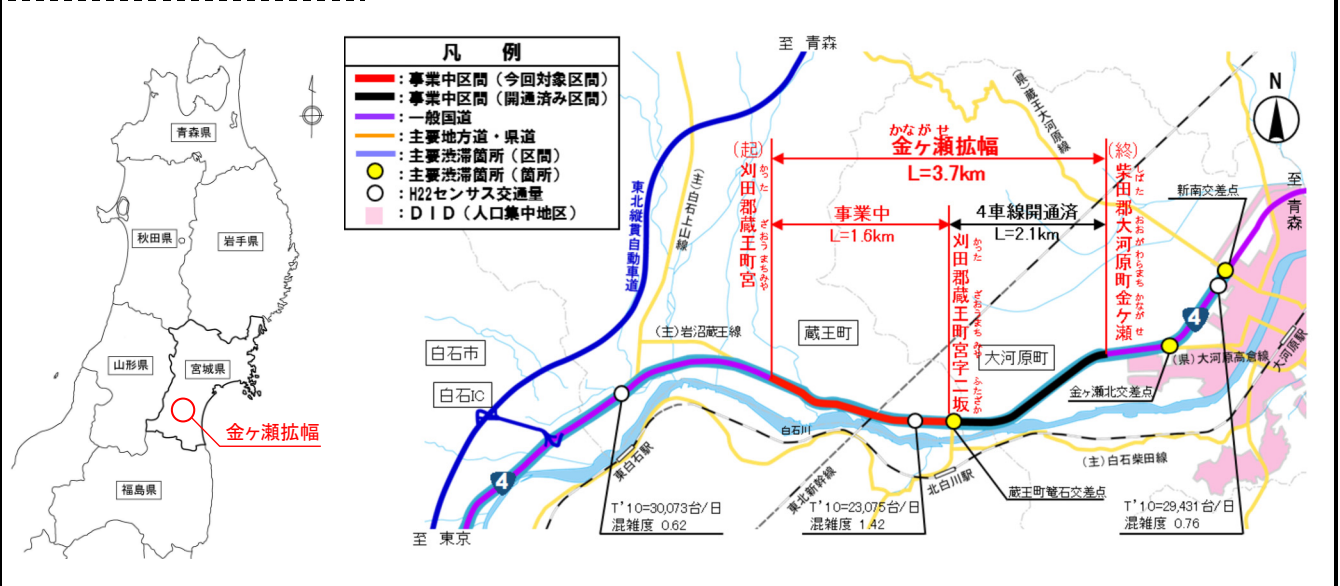
品を活用し、コスト削減を図る。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。